

このコーナーでは、ボランティアをしている人を応援し、ボランティアの「はじめの一歩」のきっかけになるような記事を掲載していきます。



子ども達の瞳が
きらきらしていました！



宇美・マータラBOOK基金 会長 一瀬トシ子さん

きっかけは..

平成8年にし〜ず・うみで開催されたシンポジウムにスリランカからの留学生レスリーさん(現在国立ルフナ大学教授)が参加され、「自国の子ども達に本を贈ってください」と話されました。この一言から、し〜ず・うみが中心となって図書を贈る活動を続けてきました。スリランカの紅茶やカレーを売る活動から始め、現在はし〜ず・うみフェスタで不用品販売のバザーをし、出店者の方々から寄付をいただき、図書を購入する財源にしています。

こんな活動です！

スリランカでは、国から教科書や制服は与えられますが、辞書や副読本はあまりありません。宇美・マータラBOOK基金では、スリランカ国内のへき地にある小・中学校に本を贈り、図書の貸出し及び維持管理に必要な手助けを行っています。今年で11年目になり、25校に合計約14,700冊の図書が贈られています。スリランカで地域開発の技術協力をされていた宇美町在住の江口さんのご協力が得られたり、子どもたちの未来を思うレスリーさんを中心とした国立ルフナ大学のスタッフの方々と、宇美町の11名のスタッフが共に活動してきています。



※マータラとは？



●バザーに出す不用品を集めています。

ご家庭に眠る使わない品を提供してください。また、し〜ず・うみフェスタで、バザーの品物を買っていただくとそれがスリランカの子どもたちの本の財源になります。

し〜ず・うみフェスタバザーの開催は
10月24日(土)

ボランコ星から

スリランカいいね〜行ってみよう。



* 問い合わせ * 932-0365 <事務局:し〜ず・うみ 吉村>

●(仮称) ボランティアセンター開設準備委員会 経過報告

(仮称)ボランティアセンターの開設に向け、必要事項の検討及び開設の準備を行うため、官民一体の委員会を設置しました。

第1回 H21.5.26 ・設置要綱と今後の日程について

第2回 H21.6.30 ・センターの役割について

今後、(仮称)ボランティアセンターのあり方や管理運営に関して検討し、町長に提案していく予定です。

編集後記

今号から、(仮称)ボランティアセンター開設準備事務局が、ざっくポランの誌面作成を担当することになりました。

今後もボランティアについて、また準備委員会の経過についてもお知らせしていきたいと思っています。よろしくお祈りします。